



「子育てサロン」(笠間市みなみ公民館)

笠間市のみなみ公民館で、毎月第3木曜日に開かれています。主催者は、笠間市更生保護女性会笠間支部の皆さんです。同支部では更生保護の活動に長年取り組んでおり、青少年の健全育成と、明るい社会づくりを目指す活動の一つとして子育てサロンを展開しています。

始まりは「場」づくりから

活動を始めたのは、平成13年から。「当時、幼児虐待とか、子育てに悩む母親の心の病いなどが大きな問題になり始めました。私たちにできることはないだろうか、何に困っているのかを追求することで、手伝えることが



代表の笠間市更生保護女性会
笠間支部長 甲斐邦子さん

見えてくるのではないかと考えたのが活動の発端でした」と、支部長の甲斐邦子さんは振り返ります。そこで、甲斐さんたちは、市内の幼稚園の母親たちを対象にアンケート調査を行いました。集計結果から見えてきたものは、母親たちが抱える様々な問題でした。「子育ての情報を共有できる場があると安心できるという要望がとても多かったので、それなら場を提供して私たちがそこにいればいいということでスタートしました」と甲斐さん。サロンを始めた当初は、スタッフと利用者間に意識の差があったそうです。「お母さんたちは子どもを預かってくれる場所とか、習い事を教えてくれる場所と思われていましたから(笑)。そうじゃなくて、ここはおしゃべりをしたり子どもといっしょに遊んだり、お母さん達がリラックスする場として始めました」とのこと。

成長を見守りお母さんをサポート



笠間市みなみ公民館

サロンは午前9時～11時30分まで開催、参加費は無料でおやつも出ます。小学校入学前のお子さんとお母さん、出産前のお母さんたちが対象で、毎回6組か

ら10組の親子が参加しています。スタッフは30人、1回につき8人から10人が、受付・おやつ・子どもの見守りなどを分担。教育・保育経験者や、子育て経験者が活躍して



甲斐邦子さんとスタッフの皆さん

います。活動の喜びをうかがうと、「ここに来ているお子さんが、一月ごとに成長していくのを見守れるのが喜びです。お母さん同士の交流が生まれているのも嬉しいですね」ということでした。サロンはお母さんたちにも好評で、「大先輩に相談ができるし、お母さんたちと子育ての情報交換ができるので楽しみにしています」という声がかけてきました。



プログラムはなく、場を提供して自由に過ごしてもらいます。

子育て環境の変化に対応した活動を

活動を始めて9年が経ち、子どもの動きを受け入れて、ゆとりをもって見守ることができるようになったという皆さんです。今後の活動については、「行政の子育て支援も充実してきましたが、支援の場に出向けないお母さんたちと子どもたちがいます。そういう親子をフォローしていきたいので、サポートする手だてを検討中です」とのことでした。



子どもたちの遊び道具は、県社協の助成金で購入したものです。

